

小技は 恥だが役に立つ

～目次～

1. はじめに
2. 小技の紹介
 - I. 主導権を握る小技
 - II. 主導権をキープする小技
 - III. その他の小技
3. 終わりに

1. はじめに

どうも、2016 年度に立教大学のチーフを務めていた大森です。僭越ながらレクチャーなるものを書くことになりました。ですが、偉大な先輩方が素晴らしいレクチャーを残してくれているので、今更書く内容が見当たりません。悩んだ末に、「小技」を紹介することにしました。(知る限り類似のレクチャーがないので)ここで言う「小技」は、発言権を得るきっかけを作ったり、それをキープしたりして、テーブルにおいての存在感を増すためのちょっとしたテクニックや心がけのことです。

しかし、僕自身はこのレクチャーを書くことに好意的ではありません。タイトル通り、恥ずかしいとも思っています。それは、これがあくまで「小技」であり、意見をぶつけ合い深めたり、それをファシリテートしたりといったディスカッションの中心的なものとは外れているからです。このレクチャーを読んだあと、きっと皆さんは、「うわっ ww こいつこんなこと考えてデイスしてたのかよ ww」とか、「なんか競技感強くて好かんわ」なんて思うかもしれません。でも勘違いしないでください。僕はこれだけで結果を残した訳ではありません。肝心な中身がないと意味がないです。また、小技について深く考えていた訳でもプレパした訳でもなく、ほぼ無意識的にやっていたことです。しかし、それを伝えることで、誰かのためになるかもしれないと思ったのでレクチャーとして書くことにしました。「多少は使えそうだな」なんて感じたら使ってみてください。

2. 小技の紹介

I. 主導権を握る小技

小技 File No.1 「Understanding を確認して介入する雰囲気を作る」

おすすめ度：☆☆☆

これは、「カンファメしたいけどリピカンって思われそうで…」とか後発介入が中心の人におすすめです。

～やり方～

A さん「○×△○×△○×」←早口や雑め発言

あなた「Do you understand?」(Point: 特に理解が遅そうな人に向けて)

みんな「うーん… (微妙な表情)」

あなた「Ok, then let me confirm his statement !」

リピカンが怖いならカンファのニーズを確認してしまえばいいという単純な発想です。また、ニーズが明らかなカンファは効果もより一層あるように見えます。

先発介入の弱点はその浸透率の悪さです。それを浮き彫りにしてから後発介入をすればその場で優位に見えるはずです。

ただ「Do you understand?」と聞いた時点で他者に取りられる可能性があるのが難点ですね。

小技 File No.2 「Understanding を確認して間を作り出し、先発介入する」

おすすめ度：☆☆☆ ゲス度：☆☆☆☆

「今その質問しようと思ってたのに～」など、タッチの差で負けることはありません？

そんなあなたにおすすめです。

～やり方～

・小技なしだと…

Aさん「○×△○×△○×」←アイデアなどの説明が終わる

Bさん「I have a question！」←超速介入

あなた「ぐぬぬ…」

・小技を使うと…

Aさん「○×△○×△○×」←アイデアなどの説明が終わる

あなた「**Everyone, do you understand ? Ok ?**」(この間に質問を考えたりする)

あなた「Ok, then I have a question !」

Bさん「ぐぬぬ…」

仕切り役になって自分のテンポを作ることによって介入しやすくなります。

「Do you understand ?」って聞くだけならたいていの介入より早くできるのでスピードで負けにくいです。

これ以外にも、「説明終わった？」って聞くのも有効ですね。

ゲス度が高いのはなんか勝負に一生懸命な感じが強いからですね笑

もし理解が追いついていない人がいたら、そんな状態で質問を重ねることは良くないからそれを未然に防いでいるという正義の意識を持ってやりましょう。

小技 File No.3 「スタンスを表明することで話に入れてもらう」

おすすめ度：☆☆☆☆

特に自分以外の二者間で対立が起こっている時に、「カンファメで介入したいんだけどタイミングが掴めない…」「カンファメで入ったものの邪険に扱われて気まづい…」なんて経験ありません？

それは、その人たちにとって自身の発言以外は無駄に感じるからです。

しかし、スタンスを表明し、どちらかの味方になると、その人に介入させてもらえる確率が高くなるでしょう。

～やり方～

・小技なしだと…

A さん「I think ○×△○×△ !」

B さん「However, I think ○×△○× !」

あなた「May I check my understanding?」

A&B「Please wait ! (自分の理解の確認ってなんやねん！要らんわ！)」

・小技を使うと…

A さん「I think ○×△○×△ !」

あなた「Hmmm... Really?」(レスポンスなどで反対のスタンスであると示す)

B さん「However, I think ○×△○× !」

あなた「I see ! I can agree with you !」(賛成であることを B さんにアピール)

あなた「May I check your statement ?」

B さん「Yes please !」

うまくいくとこうなるでしょう。

B さんの気持ちになってみてください。あなたの介入によってサポートされるかもしれないし、直接的なサポートがなくても自分に賛成派がいることがテーブルで明白になることによって A さんとの論争に勝てるかもしれません。

自分にとって都合のいい介入は許してしまう。それが人間の心理ではないでしょうか。また、スタンスの表明は重要なことなのでおすすめ度が高めです。

小技 File No.4 「自然な会話にすることで介入速度を上げる」

おすすめ度：☆☆☆ 難易度：☆☆☆☆

これは、介入速度で負けてしまう、Dis っぽい形式的なやり取りに違和感を感じるといふ人におすすめです。

そもそも日常会話でがつつりカンファメなんてしないし、質問や反論を述べる時にいちいち報告しないよね？ だったらそのまんま喋ろうというわけです。

～やり方～（カンファメを例に説明）

・小技なしだと…

A さん「○×△○×△○×」	「僕はこう思います。」
あなた「May I confirm your statement ?」	「確認させていただいても？」
A さん「Sure.」	「どうぞ。」
あなた「What you said is ○×△○×. Right ?」	「こういうことですよね？」

日本語だと非常に不自然な会話ですよ（笑）簡単な内容の時には特に。

・小技を使うと…

A さん「○×△○×△○×」	「僕はこう思います。」
あなた「Do you mean ○×△○× ?」	「それってこういう意味？」

自然な会話にすることによってテンポが出ますね。こうやって自然に介入した方が早そうなのもお分かりいただけるかと。

しかしこれにも注意が必要です。これが良いのはあくまで日常会話を意識した時であり、我々が行なっているのは議論です。国会などのお堅い場では、最初に発言権を獲得した後に喋ります。それはそうした方が良い時があるということの表れだと思います。実際、このテンポですずっと話していると、そのうち理解が置いて行かれる人が現れ、ゴチャリが発生するでしょう。その時はゆっくりした介入の方が良いです。この使い分けを考えて難易度が高くなっています。

II. 主導権をキープする小技

小技 File No.5 「自分の言葉で説明する」

おすすめ度：☆☆☆☆

持論を展開している時に、「あれ、こんなはずじゃなかったのに…」なんて経験ありませんか？

それは下手な人（傾聴力に欠けるなど）に主導権を奪われているからです。
対策はシンプルです。

～やり方～

・小技なしだと…

あなた「○×△○×△○×」

Aさん「I have a question.

①○○○ ②△△△ ③other」（どんな Q でも C でも起こりうる）

あなた「Hmmm... maybe...First one...」

Aさん「Ok, then ×△○×.....(以後ハンドられ続ける)」

嘘みたいですが上のようなやり取りをよく見ます。選択肢やカンファメに
「Maybe」で回答している時点で何か不足していることがわかりますよね。

・小技を使うと…

あなた「○×△○×△○×」

Aさん「I have a question.

①○○○ ②△△△ ③other」

あなた「Hmmm... Let me explain by using my words.」

あなた「What I want to say is ×△○×.....」

相手のチャート上で、相手の言葉を使って表現されると主導権を奪われます。
自分のチャートで、自分の言葉で表現しましょう。多少近い回答があったからと
言ってそれを選んではいけません。自分のアイデアは自分が一番知っています。

小技 File No.6 「話が終わってないことを表明する」

おすすめ度：☆☆☆

順位がかかった大会では話の被せあいが多発します。自分の話がまだ終わって
いないことの明示や、他人の話が終わったかどうかの確認が主導権の行く末を

左右します。

～やり方～（セリフ集）

「Let me finish my statement.」 先に話終わらせてよ

「Can I finish ?」 上記を疑問形にして丁寧に

「Where has my(his) statement gone ?」 私(彼)の話どこいったの？（嫌味）

「Is your explanation all over ?」 君の話したいことはそれで全部？

「Satisfied?」 これでいいの？

「What was conclusion of previous statement ?」 さっきの話ってどうなったの？

被せあいが起こらない紳士的な議論を期待しています。（^ ω ^）

小技 File No.7 「重要な部分は自分に取り戻す」

おすすめ度：☆☆☆☆ 難易度：☆☆☆☆

見切り発車気味の発言が相手にカンファメされてそのまま持って行かれてしまったなんて経験ありませんか？ しっかり取り戻しましょう。

～やり方～

・小技なしだと…

あなた「○×△○×△○×」

Aさん「May I confirm ? What you want to say is ×△○×…」

Aさん「Ok, then to examine this idea, let's confirm the goal…」

これではハンドられているように見えます。

・小技を使うと…

あなた「○×△○×△○×」

Aさん「May I confirm ? What you want to say is ×△○×…」

あなた「Yeah, yeah, yeah... Thank you for your confirmation.」

あなた「Ok, then finally my goal is ○○ and to examine this idea...」
タイミングを見つけ発言権を取り戻し、自分で検証手順を示しましょう。
相手のカンファメの間に話の行く末を整理してその上で話を取り戻す、簡単ではありませんが意識したいですね。

III. その他の小技

小技 File No.8 「より客観的な言葉を使う」

おすすめ度：☆☆☆☆ 難易度：☆☆

～やり方～

「I」「My」などの主観的な言葉を使うと独りよがりのわがままに聞こえます。

「We」「Our」「This point」などを主語に置くとカッコいいです。

その他にもイケメンな言葉を心がけましょう。

・小技なしだと…

「I want to talk this idea.」

・小技を使うと…

「We should discuss this idea.」

「This point should be discussed as Japanese government to decide the policy.」

「I」を「We」に 「talk」を「discuss」に変えたのが第一形態。その下のさらにかっこつけたやつが最終形態です（笑）

「アイデア」のことを「論点」などといって「日本政府として」と付け加えれば大体カッコよくなります（笑）

簡単だし客観性が上がればアイデアやSが選ばれやすいのでおすすめです。

3. 終わりに

書き終えてみると、当たり前のことばかり書いていて初級者向けの内容になっていました。レクチャーって難しいですね。まだまだたくさん小技があるので書ききれないのでこの辺で終わりにしました。もっと知りたい物好きがいたら気軽に連絡してください。小技以外にも基本的なことは何でも教えられますので、「個人プレパして欲しい!」とか「大学に来て欲しい!」とかでも大丈夫です。上達への近道はプレパ環境の土台作りだと思います。積極的に他大学のプレパに行ったり先輩とアポをとったりすると良いと思います。長くなりましたがこれで終わりです。駄文を最後まで読んでくれてありがとうございました。

連絡先

LINE 420shingo

Email st.paul2016chief@gmail.com